

新しい技術や設備の導入はもちろん進めていくのですが、医療を支えていくのはなんといっても「人」です。どんなに優れた医療設備が整っていても、透析をお受けになる皆様と接するのは私たち一人一人の職員です。高度な技術だけではなく、スタッフが実現する「心の通う医療」が信頼感につながっていくものと思います。このことを実践していくためには、職員教育がとても重要になります。

1. 人と人との触れ合いが実感できる、暖かみのある医療の実践
2. 最新の医療機器と医療技術の積極的な導入
3. 透析治療にともなう合併症対策の継続と強化

この3点を重点課題として、現状に満足することなく、日々、より良質な医療の提供を心がけながら仕事をしていきたいと思っております。今後とも偕行会グループの透析医療をよろしくお願い申し上げます。

